

銅の抗菌作用

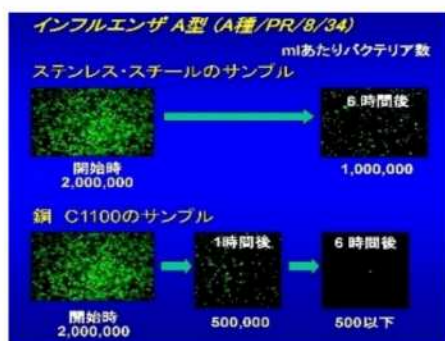
銅は水などに触れる際、僅かな量の金属イオンが溶け出し、細菌類のはたらきを抑える「微量金属作用」という効果を発揮します。



私たちの身近な銅製品

例えば10円玉だけではなく、5円玉、50円玉、100円玉、500円玉は銅を主成分とする銅合金で出来ており、銅の微量金属作用のおかげでコインの表面は細菌が繁殖せず清潔さを保ってくれています。

私たちが日々使用している電気を運ぶ電線や、パソコンやスマートフォン、電化製品、自動車など…目には見えないところにも銅はたくさん使われており、これからの未来にも銅はますます活躍していくと考えられます。



菌やウイルスに対しての抗菌作用

日本銅センターによると、A型インフルエンザウイルスを銅 (C1100) の表面に接触させ経時的に感染数を測定したところ、6時間後には0.025%まで減少したという試験結果が出ています。

細菌の種類によって銅の抗菌作用の強弱はありますが、ノロウイルスや病原性大腸菌O-157に対する不活性にも有効であることが判明しています。

健康に不可欠な栄養素

ヒト成人の体内には70~100mgの銅が含まれており、健康に不可欠な栄養成分で「微量必須元素」と言われています。

食物に含まれている金属といえば鉄分はよく耳にしますが、普段私たちが口にする食品にも銅は含まれています。銅も不足すると銅欠乏症という病気になりますので、赤ちゃんの健やかな発育に役立つ粉ミルクにも非常に僅かな量ですが含まれています。



下水処理場で活躍する銅板

弊社でも材料および加工品で取り扱いのある下水処理場の最終沈殿池に使用される越流板。銅板を使用する以前は、大量に藻が発生することでスムーズな水処理ができなくなり藻にボウフラが湧き、蚊の発生源となっていました。

近年では銅板が使用され、銅の微量金属作用による防藻効果によって藻の発生を抑制することで高い評価を受けています。

山内金属株式会社

<http://www.yamauchi-metal.co.jp>



本社 〒578-0904 大阪府東大阪市吉原2丁目4番41号 TEL(072)968-1210 (代) FAX(072)968-1212

東日本営業所 〒339-0028 埼玉県さいたま市岩槻区美園東1丁目28番7号 TEL(048)791-1127 FAX(048)791-1128